

BeLive

9

つやま城下ハイスクール

株式会社和田デザイン事務所
つやま城下ハイスクール

Tsuyama

城下ハイスクール

未来を考える
きっかけになった

わたしたちのまち「津山市」を

持続可能なまちへ

Tsuyama
城下ハイスクール

11 住み続けられる
まちづくりを



まちの課題

津山の未来を決める
若者人口・生産人口の流出



「まちの未来の担い手」をどう育むか？
とても大切で、難しい課題だった

つやま城下ハイスクールとは



自ら学ぶ学校の枠を超えた学校

津山市内のすべての高校から、
まちの未来のために高校生が集まる新しい取り組み

活動概要



2021
SPRING

一日限りの
つやま自然のふしぎ館

PROGRAM
●写生大会 ●ガイドツアー

城下ハイスクール





2021
SUMMER

つやま自然のふしぎ館
ナイトミュージアム

PROGRAM
プラネタリウム

城下ハイスクール





2021
AUTUMN

つやま自然のふしぎ館
アルバム辞書ワークショップ

THANKS
国立科学博物館/絶 creation

城下ハイスクール

未来の公園をつくる
アウトドアファニチャー




2022
SUMMER

森本慶三記念館のなぞ!

PROGRAM
●図書館がやってくる ●紙芝居
●館内体験ツアー ●Tシャツデザイナー

城下ハイスクール





2023
SPRING

BOOK YAY!
本に囲まれた空想を楽しもう!

PROGRAM
●でーれー紙芝居
●なぞとき図書館 (司書体験)
●架空図書館 ●屋内芝生図書館

城下ハイスクール





2023
AUTUMN

森と本とごはん

PROGRAM
●Park・ふしぎ館の展示 ●ワークショップ
●読書チャレンジショップ ●ピザ作り (本)
●ガイドツアー ●マルシェ ●文化村 de デザイナー

城下ハイスクール




企業との関わり



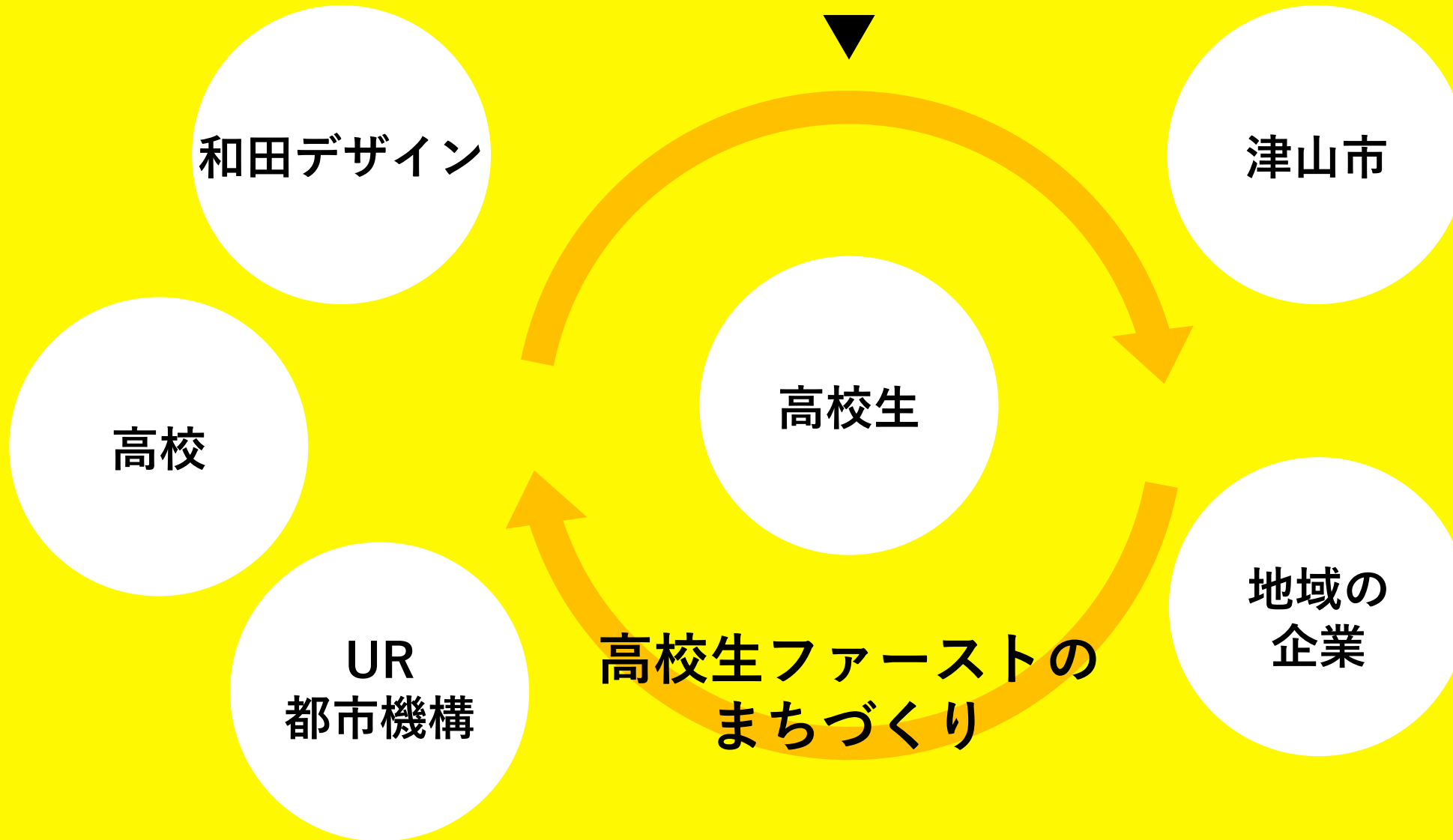
会社の代表・建築家でもある
和田さんに聞いた！

「社会を良くする」デザインする会社
和田デザイン事務所 主宰

市役所と一部の専門家で作るだけでなく
まちづくりを通して
ひとづくりをしていくことが未来をつくる

行政やたくさんのお大人も関わり、高校生ファーストで、
一緒にまちの未来をつくる仕組みが「つやま城下ハイスクール」

企業・組織との関わり



まちの課題

ブリッジをかける！



“18歳の崖にブリッジをかける”

年2回の、地域を知って行動する
「社会実験」というしかけ

高校生、OBOG・・・まちのみんなで
アクションを起こし続けている





循環するひと 持続するまち・みらい

企業

まちの課題を解決する
しかけづくり

これまでにない「市内すべての高校・行政・教育委員会」がオーソライズした活動

「まちの未来の担い手」を育てる環境整備

学校の枠を超えた学校を
民間団体が運営することで生み出す価値

高校生

高校を卒業しても、離れても
まちに関わりつづけられる

まちを知る・愛着を持つ
(思い出・想いの芽生え)

1つのミッションに立ち向かう
居場所と仲間ができる

自分たちの成長と
まちづくりについて考えて行動
主体的にチャレンジ

探究活動を通して

高校生一人ひとりのなかに
芽生えたものがある

有田 華梨（2年）

木工班


やったことないので面白そうだと思って選んだ

みんなで企画から始めて、
「こんな物にして使ってもらいたい！」と意見し合う

新鮮だった



Tsuyama
城下ハイスクール



「頑張ってよかった」と、
とても嬉しい気持ちになりました。

いろいろな仲間や、アドバイスをくれた方々に出会った
城下ハイスクールでしか出来ない貴重な経験だった



田村 楓（2年）

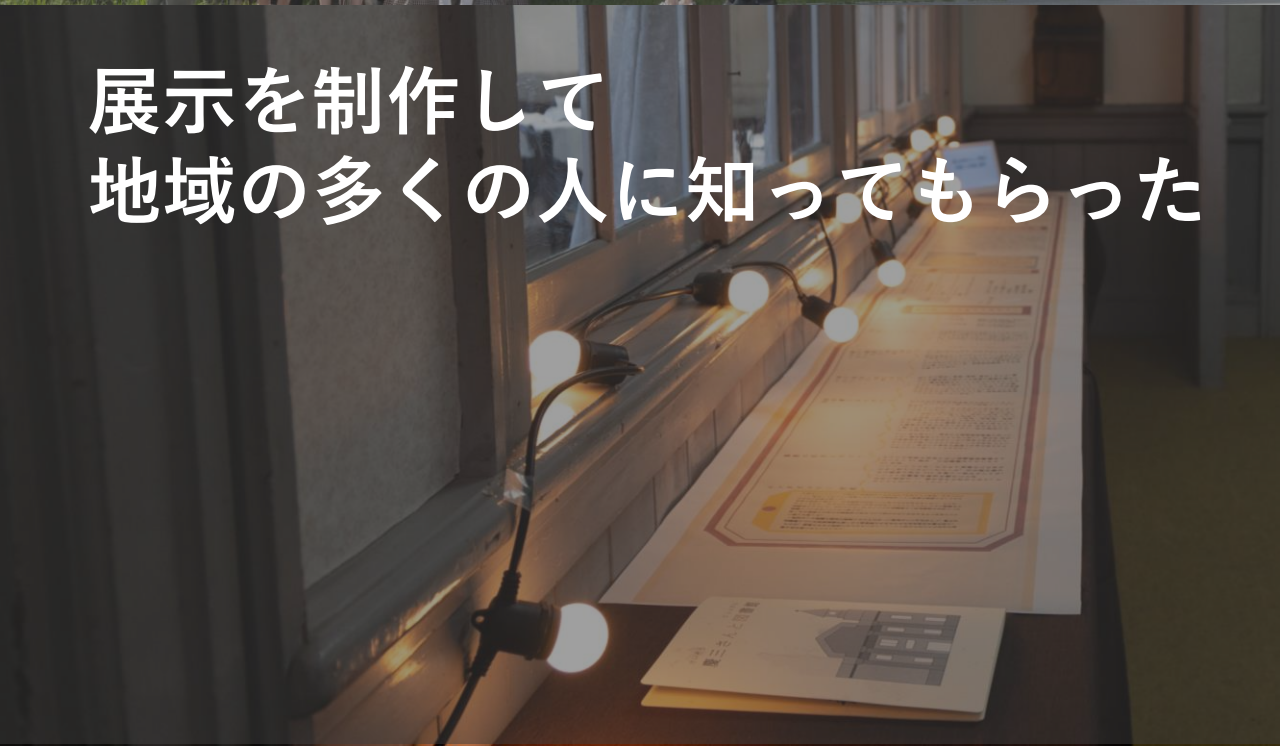
展示班

人に興味があって、知らない人を調べたら面白いと思ったので
展示班で「創始者・森本慶三さんと森本慶三記念館」
を調べて展示をした

地域について調べていくのは
とても面白かった



展示を制作して
地域の多くの人に知ってもらった



Tsuyama
城下ハイスクール

挑戦する勇気がついた

Tsuyama
城下ハイスクール

ちょっとでも、
自分で興味を持ったら
やってみようと思えるようになった

- 議事
- ① 令和3年度 行事報告
 - ② 令和3年度 決算・監査報告
 - ③ 令和4年度 行事計画案
 - ④ 令和4年度 予算案

千後 天羽（2年）

木工班

もともと、ものづくりが好きで
楽しそうだとおもったのがきっかけで選んだ

ものづくりが好きで
新しい技術を知れたことがうれしかった
今後も役に立ちそうと思った



「つくる前に計画」

使う人のことを考えて
小さな子どもでも楽しめるように
みんなアイデアを出し合った

難しいこと、地域の問題に対して
計画を立てるように意識すること、
現実に照らし合わせる力がついた

実践していきたい

日下 大輝（3年）

飲食班

ボランティア活動など様々な課外活動に参加してきた
城下ハイスクールには、2年生の時から参加

ほかの活動とは、気持ちが違う

企画から考えて
自分たちで発見したかたち
「津山のことばで紙しばい」



Tsuyama
城下ハイスクール

「自分たちでやっていこうという」雰囲気がある

Tsuyama
城下ハイスクール

いろいろな想を持った高校生・メンバーが
1個のことに向かって頑張れる



Tsuyama
城下ハイスクール



みらいは自分たちでつくる

Tsuyama
城下ハイスクール